

# RPC-5NC ファームウェアバージョンアップ

## 4.30Cでの新機能ご紹介 ならびに 注意書き

明京電機株式会社

1.0版(2025/12作成)

弊社REBOOTERシリーズ[RPC-5NC]を平素ご利用いただき、誠にありがとうございます。  
ファームウェアを「4.30C」にバージョンアップ後、使用できる機能をご紹介します。

注意：書換後、ダウングレードを行うことはできません。

### 《4.30Cの変更点》

- ・リブーターの外部通信設定(NTPサーバー設定,メール受信設定等)が行われていない状態で本機に電源投入した場合,Webアクセスできないことがある不具合に対応しました。
- ・機器起動時(リンク確立時)のタイミングにより,送信パケットの一部が送信されない場合がある不具合に対応しました。

### 《過去の追加機能・変更点》

【バージョン:4.10A】

- ・電源管理クラウド365 WEB画面からのオンラインバージョンアップに対応しました。

また4.10A以降は(ローカルファイルバージョンアップだけでなく)オンラインバージョンアップも可能になります。(電源管理クラウド365WEB画面でも,リブーターWEB画面でも可能です。)

★FW:1.00Aのままで、電源管理クラウド365はご使用になれません。

※電源管理クラウド365をご使用になるには、保守パックのご契約が必要となります。

【バージョン:4.20A】

- ・シャットダウンスクリプト実行時のエラーコードが変更となりました。

エラーコード	エラー内容
0	正常
1～248	ユーザーが定義可能なエラーコード スクリプト関数を利用して、独自のエラーコードを定めることができます。
249	スクリプト実行失敗
250	ログインエラー Telnetでの接続はできたが、IDもしくはパスワードが異なっていた。
253	接続エラー Telnetでの接続ができなかった。
255	タイムアウトエラー スクリプト実行中にtimeoutコマンドで設定した時間が経過した。

【バージョン:4.20D】

- ・特定の環境下で現象として表出するTCP通信の不具合に対応しました。  
WEBアクセス時, 特定の条件下で意図せぬログアウトが発生しないようにしました。

【バージョン:4.30A】

- ・送信メール 本文1行目も選択可能になりました。

※4.20Dからのバージョンアップ後には「初期化」またはメールの項目を再設定していただく必要があります。

- ・Ping監視(メール監視)の動作プルダウンメニューに「ON」「OFF」が追加されました。  
これまで機能として存在していましたが、WEB GUIでも表示し選択しやすくしました。
- ・シリアル通信、もしくはTelnet通信でのコマンド実行することによって、ファームウェアのバージョンアップが可能となりました。(方法は詳細取扱説明書をご覧ください。)
- ・電源管理クラウド365WEB画面で設定したスケジュールが、リブーターに設定書き込み可能となりました。(従来のPOC365サーバーからのコマンド発行によるスケジュール制御も選択可能です)

仮にリブーター側で通信途絶などが生じ、POC365サーバーに繋がらない状態でもリブーター側に書き込まれて設定されたスケジュールで確実に実行するようにできます。

★ご注意:サーバーからリブーターにスケジュール設定可能状態にしたとき、リブーター(RPCシリーズ)にそれ以前に設定されていた「全スケジュールが消去されて、サーバー側で書き込み指定したスケジュール設定が書き込まれる」仕様となっています。  
また、RSCシリーズではこの「スケジュール設定書き込み機能」は対応しておりません。  
RSCシリーズは従来のサーバーからのコマンド発行によるスケジュール制御をご利用ください。

【バージョン:4.30B】

- ・本機に主電源を投入した際に、ごく稀に通信ができない場合や、アウトレットの出力が行われない場合がある不具合に対応しました。  
(4.30B以降のファームウェアでは、本装置電源投入時、PILOT LEDが3秒点灯→0.25秒消灯→その後、(本体に電源投入されている限り)常に点灯、となります。)
- ・ポート監視の動作に「ON」「OFF」が追加されました。

## 《バージョンアップの方法》

[システム設定]の[詳細設定]をクリックします。詳細設定画面が表示されます。

[ファームウェア更新]をクリックすると、以下のメニューが開きます。

オンラインアップデートを行う場合：[開始]をクリックすると、弊社サーバーに接続してアップグレードします。

ローカルアップデートを行う場合：[ファイル選択]をクリックし、PCに保存したアップグレード用のファイルを選択してアップグレードします。

## バージョンアップ後のご注意

電源管理クラウド365からのファームウェアアップデートを行う場合は、事前に、リブーターの設定で[システム設定]-[詳細設定]-「機器制御」の「ファームウェア書き換え設定」を[有効]または[オンラインのみ]に設定してください。(リブーターのデフォルト値は[有効]です。)

## 【4.10A以降にバージョンアップしてから】 電源管理クラウド365からのオンラインバージョンアップ

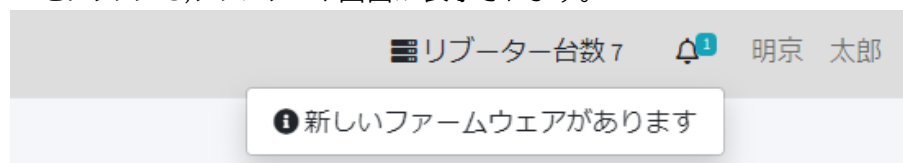
4.10A以降にアップデートすることにより、次回以降のファームウェアアップデートを電源管理クラウド365から行うことができます。

**注意** 正常にファームウェアアップデートが完了すると、自動でリブーターのCPUリセットが行われます。  
CPUリセットに伴いアウトレットの状態は変化いたしません、イベントログが消去されます。リブーターのログが必要な場合は事前に保存してください。

アップデートが可能になると、ダッシュボードに通知が表示されます。  
通知は管理者権限ユーザーのログイン時のみ表示されます。



通知マークをクリックでメッセージが表示されます。  
メッセージをクリックで、アップデート画面が表示されます。



アクティベートされたリブーターが一覧で表示されます。  
アップデート可能なリブーターは赤背景で表示されます。  
ファームウェアアップデート未対応のリブーターはステータスに「未対応リブーター」と表示されます。  
未対応リブーターはリブーターのWEB画面からアップデートを行う必要があります。

リブーターファームウェア管理

リブーターファームウェア管理

SSHサーバー機能対応機種に関しては、SSHでのコネクションが切れている状態でバージョンアップを実行してください。

行をクリックで選択/選択解除 ☒ 未アップデートを全選択 ☐ 全解除

デバイス名称	機器	現在のファームウェア	最新のファームウェア	ステータス
リブーター-0005 RPC-M4LS	WATCH BOOT L-zero RPC-M4LS	4.10A.230628	4.10A.230629	
リブーター-0009 RPC-M2CS	WATCH BOOT nino RPC-M2CS	4.10A.230628	4.10A.230629	
リブーター-0010 RPC-M5CS	WATCH BOOT light RPC-M5CS	4.00A.230123	4.10A.230629	未対応リブーター

3件中 1~3件を表示

前 1 次

アップデート実行

アップデートを行うリブーターの行をクリックして、アクティベートするリブーターを選択します。  
[未アップデートを全選択]をクリックでアップデート可能なリブーターをすべて選択することができます。

リブーターファームウェア管理

リブーターファームウェア管理

SSHサーバー機能対応機種に関しては、SSHでのコネクションが切れている状態でバージョンアップを実行してください。

行クリックで選択/選択解除 ☒ 未アップデートを全選択 ☐ 全解除

デバイス名称	機器	現在のファームウェア	最新のファームウェア	ステータス
リブーター-0005 RPC-M4LS	WATCH BOOT L-zero RPC-M4LS	4.10A.230628	4.10A.230629	
リブーター-0009 RPC-M2CS	WATCH BOOT nino RPC-M2CS	4.10A.230628	4.10A.230629	
リブーター-0010 RPC-M5CS	WATCH BOOT light RPC-M5CS	4.00A.230123	4.10A.230629	未対応リブーター

3件中 1~3件を表示

前 1 次

アップデート実行 戻る

[アップデート実行]をクリックで確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

選択されたリブーターのファームウェアを更新  
します。よろしいですか？

はい いいえ

ファームウェアのアップデートが実行されます。実行中のリブーターは背景が灰色となり、ステータスが「リブーター待機中」または「アップデート中」となります。  
背景が灰色の間は、リブーターの操作を行うことはできません。

